



2012年 さらに東京の中に新たな機能が生まれました! 2001年

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合設立! 21世紀型地域機能づくり構想

市民版地域福祉計画づくり支援 インクルファンド(助成)事業

だれもが安心して暮らせるまちを描く

地域福祉事業や活動を行なう団体に助成!

人材育成のフォーラムや見学ツアーなども開催!

事業の立ちあげ 事業の継続

農業 農作業受託ネットワーク 特定非営利活動法人 たがやす

教育 NPOコミュニティスクール まちデザイン

市民バンク 東京コミュニティパワーバンク

環境 環境まちづくりNPO エコメッセ

支援活動 NPOコミュニティファンド まち・未来(現・まちぽっと)

(会員団体) 生活クラブ・東京、NPO法人アビリティクラブたすけあい、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合、東京・生活者ネットワーク、社会福祉法人悠遊、認定NPO法人まちぽっと、東京コミュニティパワーバンク、NPO法人市民シンクタンクひと・まち社、環境まちづくりNPOエコメッセ



これからも地域の暮らしを豊かに! そして、地域を越えた機能と連帯を広めていこう!

生活クラブは、地域に必要なさまざまな機能を生みだしてきました!

生活クラブは、組合員が必要とする消費材を組合員自身の手で生産者とともに生み出してきた。しかしながら、生活クラブの事業としては難しい分野や、行政や一般のサービスではカバーしきれない分野もある。そうした課題を組合員自らの手で取り組んでいったのが、ワーカーズ・コレクティブやNPO団体などのさまざまな市民事業だ。生活クラブ運動を広げていく仲間として生活クラブ運動グループという。現在東京には、お弁当や食品の製造、生協委託業務、カフェ、資源回収、保育、たすけあいなど180以上の運動グループが地域で活躍している。また、地域の組合員組織である「コミュニティ」も防災・減災・子育て・見守りなど多彩な互助機能を創りだして、個人が主人公となり生活を自治する取組みが広がっている。

生活クラブ運動グループ 1980年代

介護 放射能 保育 働き方

添加物 環境ホルモン 国内自給率の低下

食べもの世界も心配... 食べもの問題がでてくるね

「雇われない」新しい働き方を始めましょう!

地域に必要な事業を立ちあげよう!

新しい働き方! ワーカーズ・コレクティブを結成しよう!!

1984年 砧・板橋・町田や各配送センターに続々とワーカーズ・コレクティブ発足!

1983年 生活クラブ・東京 第15回通常総代会にて

スーパーの総菜部 合成洗剤で洗いもの

添加物だらけのお弁当作り

地域にはいろんな問題がいっぱいだよ!

個別配送が増えて大変! 人手がほしい!

さまざまなニーズに応え... 配送ワーカーズ・轍

配送センターの受託業務からスタート!!

その後

弁当・総菜ワーカーズ

安心安全な食事がしたい!

食材はもちろん消費材で!

配食サービス

1人の食事を作るのが難しい!

たすけあいワーカーズ

少しいの間 母の面倒をみてほしい!

製造販売ワーカーズ

安心なパンやお菓子がほしい!

素材もあきらめず!

最初の3年間は...

続々誕生!

生活クラブ・東京とブロック単協

生活クラブは、北海道から関西までの21都道府県に33ある生活協同組合(生協)で、組合員数は約40万人。そのうち東京の組合員数は約8万7千人(2019年11月)になる。本来生協は都道府県単位で事業を行なうものであり、かつては、東京も全体で1つの生協だった。規模が大きくなっても、組合員1人ひとりの声を運営に反映できるようにと連合体としての生活クラブ・東京を残しつつ、4つのブロック単協(23区南生活クラブ、北東京生活クラブ、多摩きた生活クラブ、多摩南生活クラブ)を創立した。

まちと組合員活動

各ブロック単協の組合員は、住んでいる地域の「まち」に所属し、拡大や利用、組合員間や生産者との交流、学習会などさまざまな活動を行なう。2019年現在、まちの数は54。生活クラブの消費材は、その多くが組合員と生産者が信頼関係を培ってきたオリジナルの製品である。そのため、生産の背景にある問題を理解し、市場にない価値に共感できる仲間づくりが必要になってく